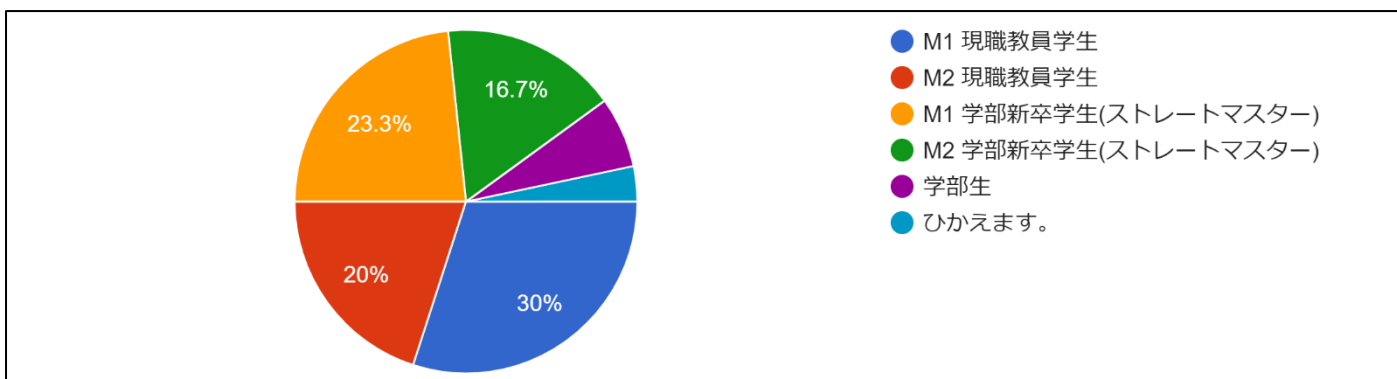
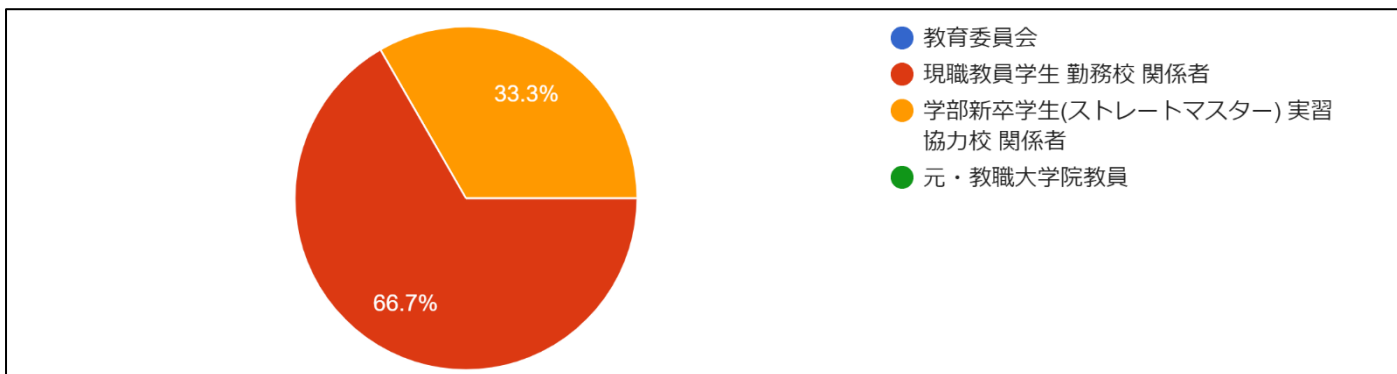


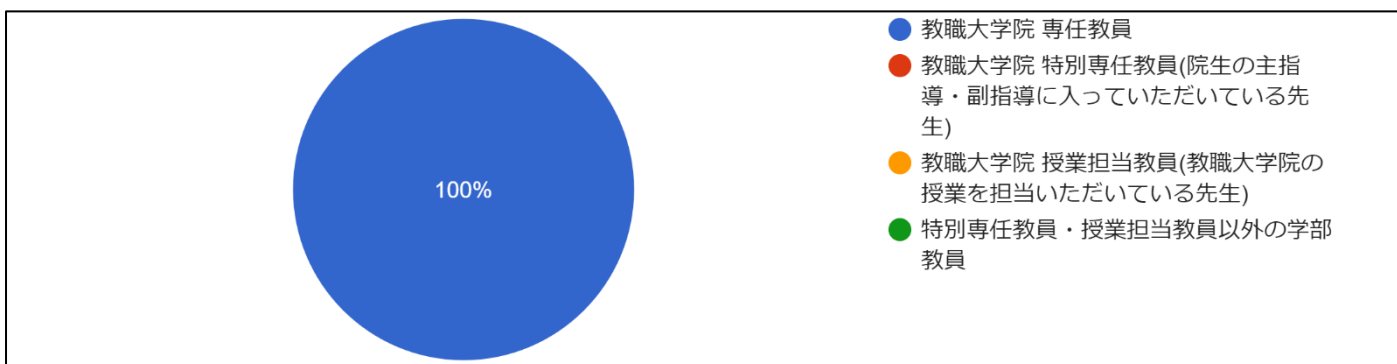
院生・一貫プログラム生(回答 30 件)



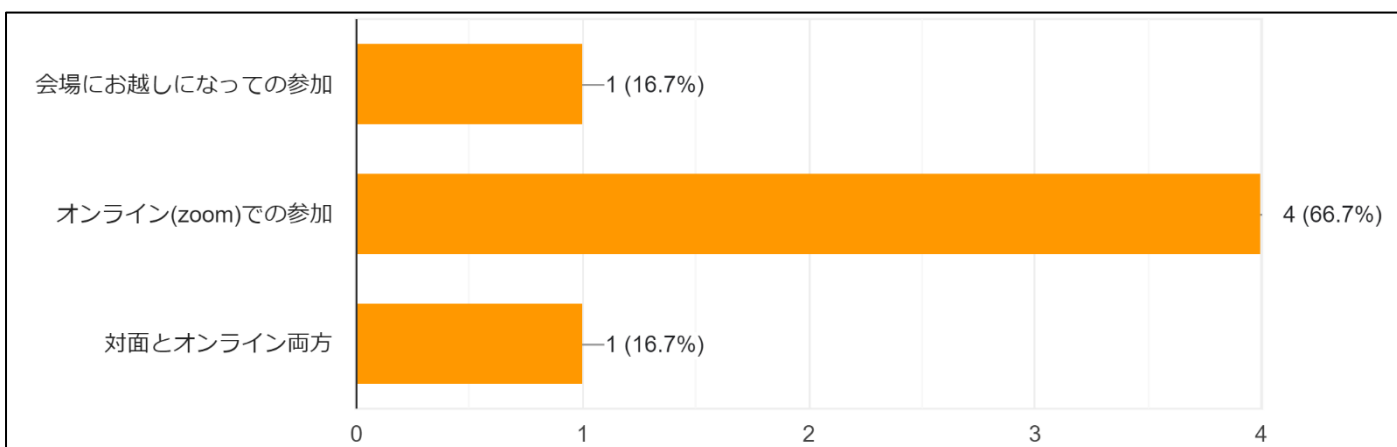
実習協力校・教育委員会等(回答 6 件)←リマインド中



学内教員(回答2件)←リマインド中



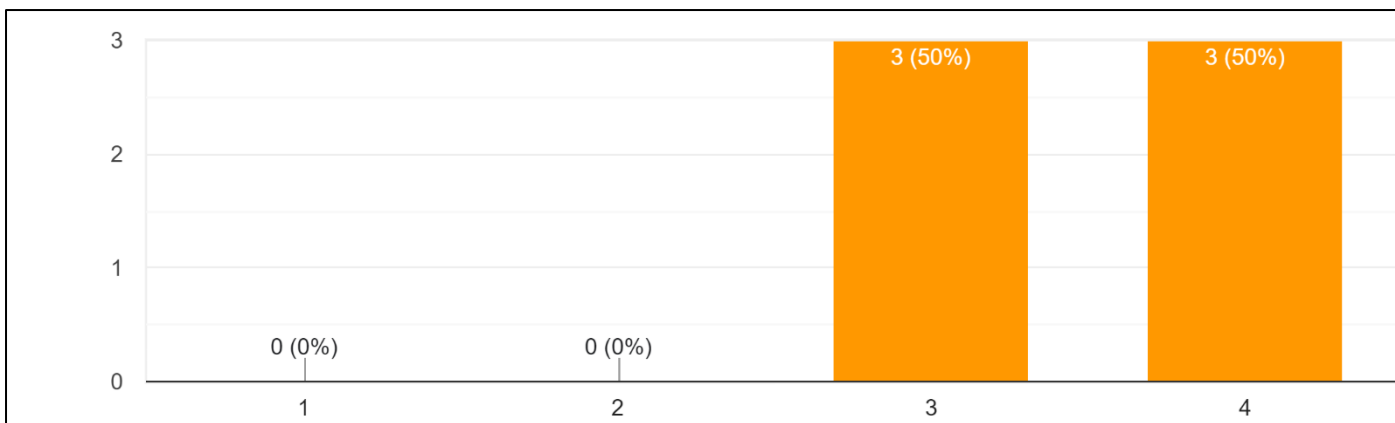
2. 報告会への参加方法(学外/教員に質問。回答した教員は全員オンラインで参加)



対面・オンラインでの参加を選んだ理由

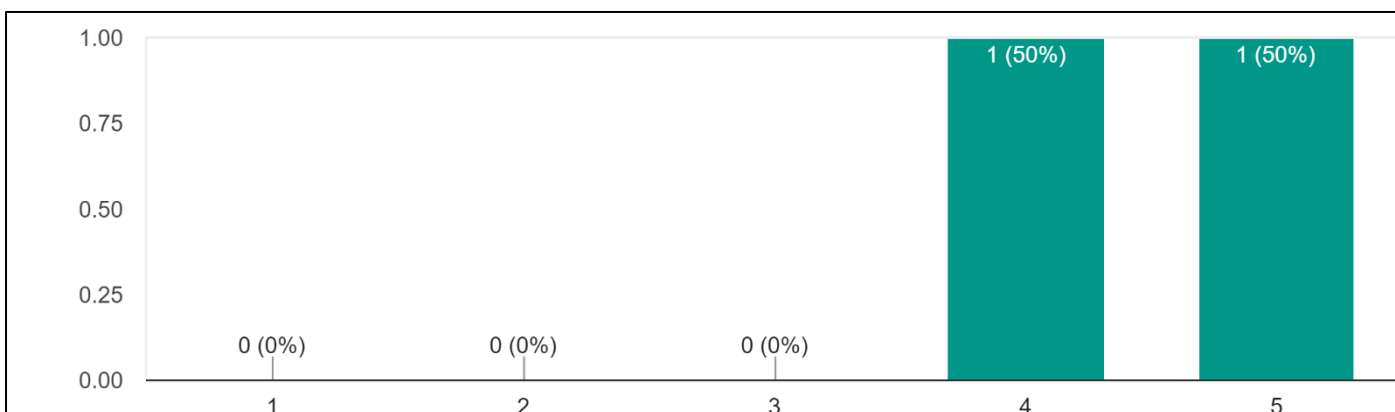
- ・直接聴きたかった
- ・校内事情による
- ・対面がいいが、前の画面が見えないのでハイブリッドで参加した。
- ・会場にお伺いしていろいろな方の発表を聴いてみたいという思いはありますが、業務の関係で十分な時間が取れません。本校の実習生の発表はぜひとも聴きたいと思い、移動時間のかからないオンライン方式を選択しました。

3. 報告会についての(大学院側の)情報提供はいかがでしたか。(学外/教員)



回答の理由

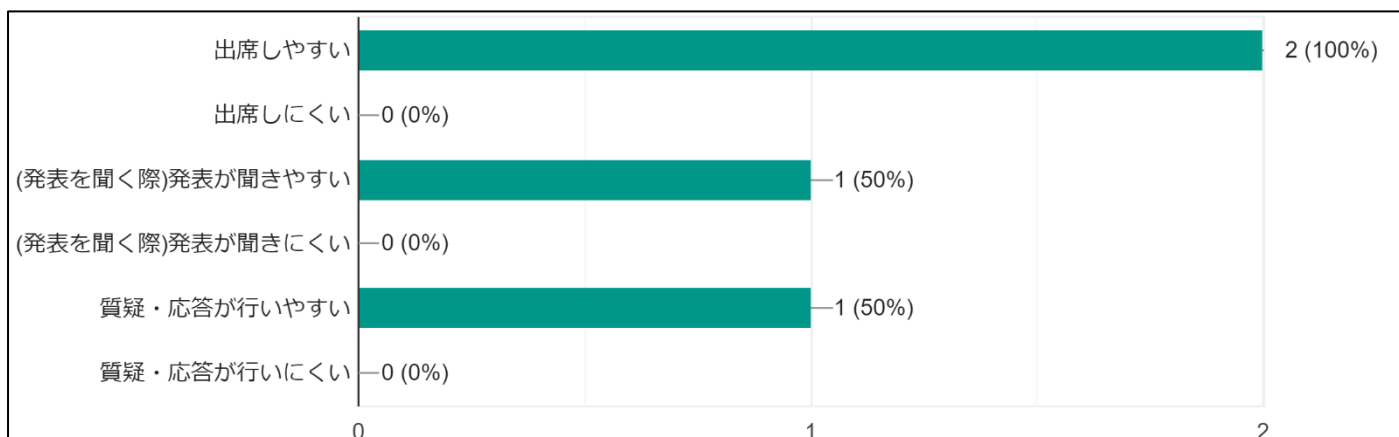
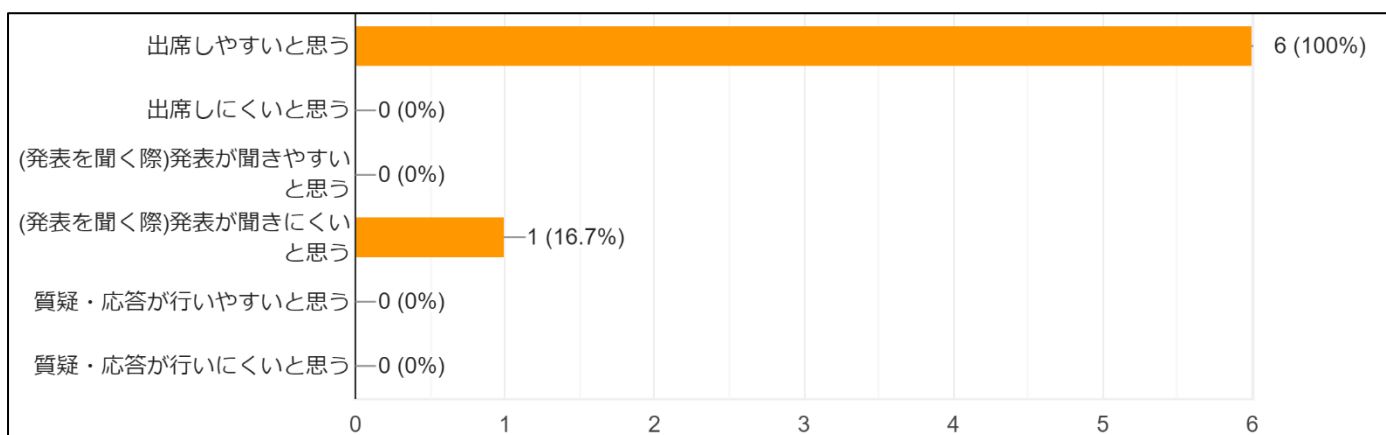
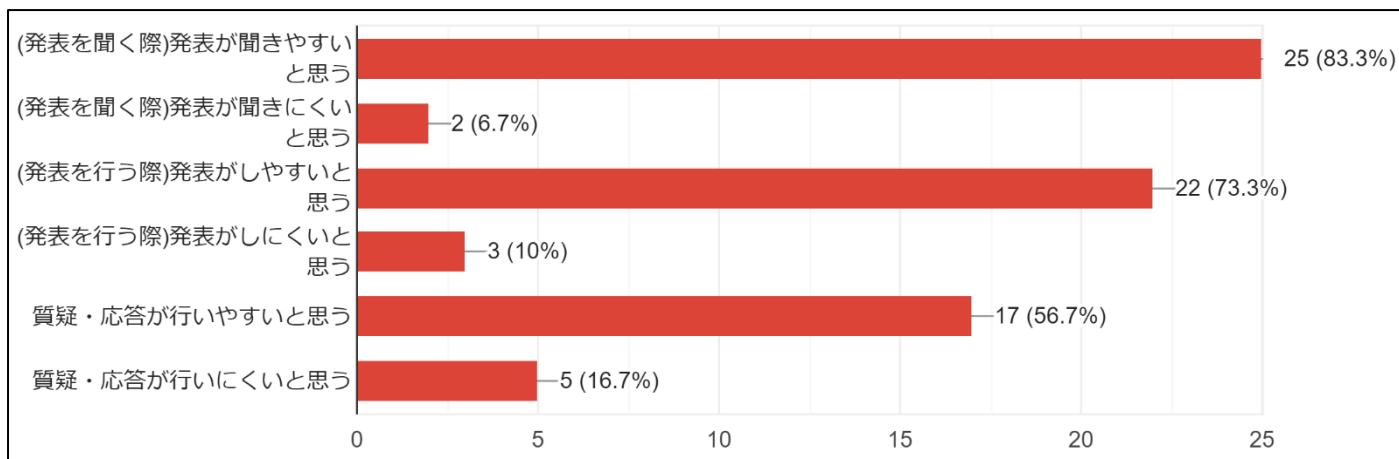
- ・前日になってパソコン持ち込み等のメールが来た
- ・音声がとぎれ、残念でした。
- ・スムーズにできた。



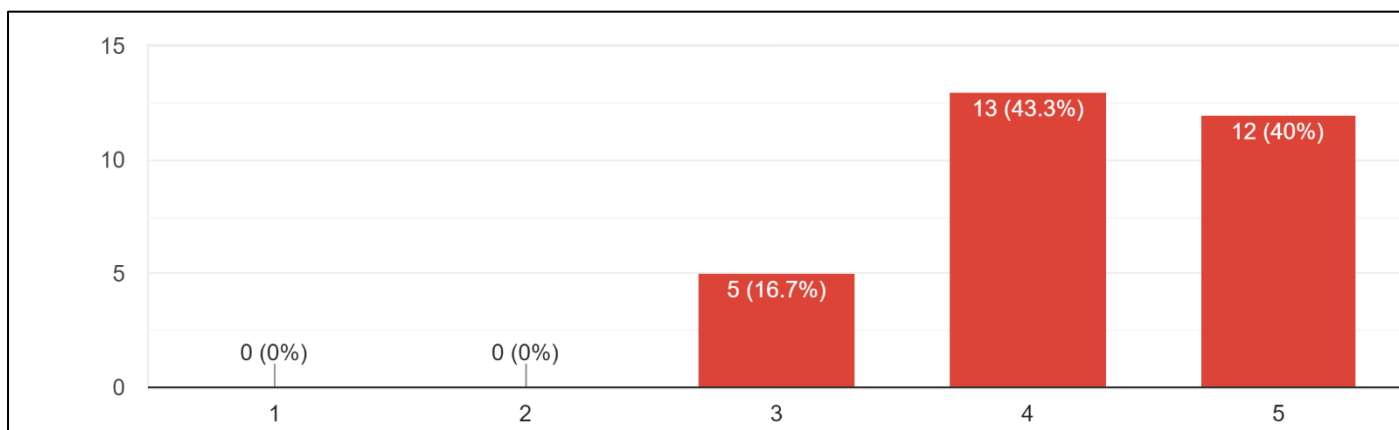
回答の理由

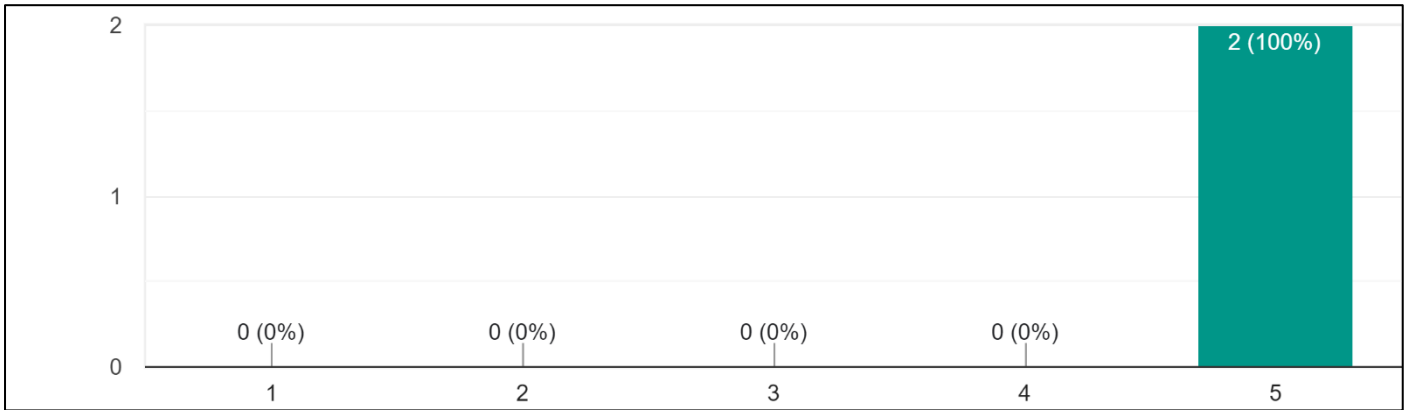
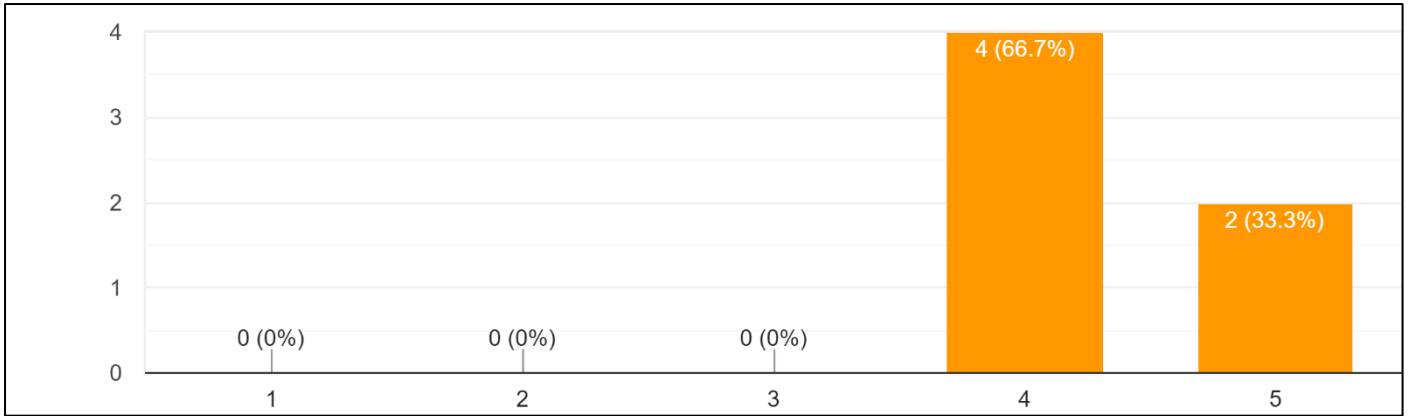
- ・スライド等の資料が一箇所にまとまっていた。以前は、学部教員の参加できる時間と指導生の発表順を考慮してもらっていたが今年度はそのようなことはなかったと聞いた。
- ・欲しい情報がまとめて送られてきたため

4.ハイブリッド型での実施について、当てはまるものを全て選択してください。(複数選択可)(学生/学外/教員)



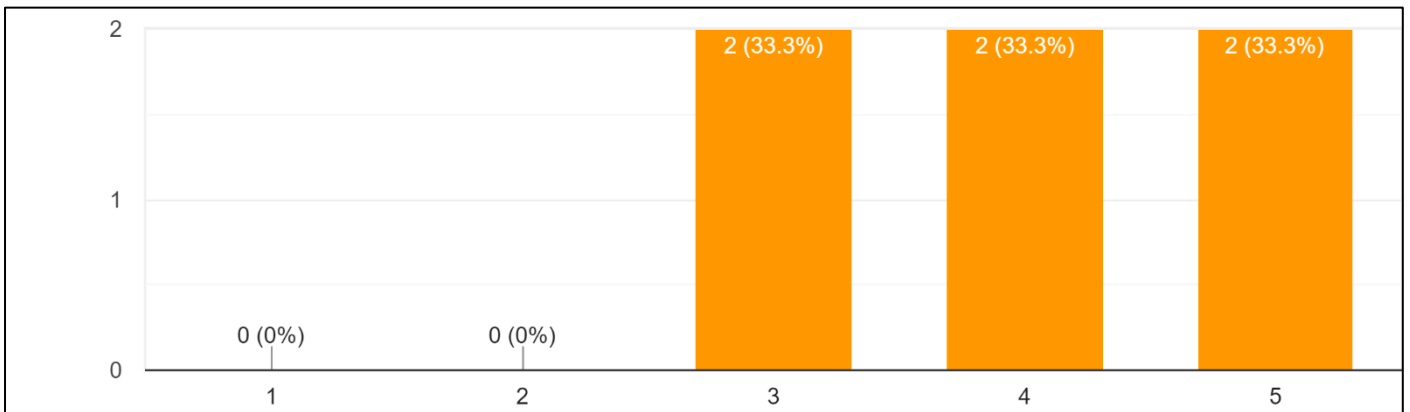
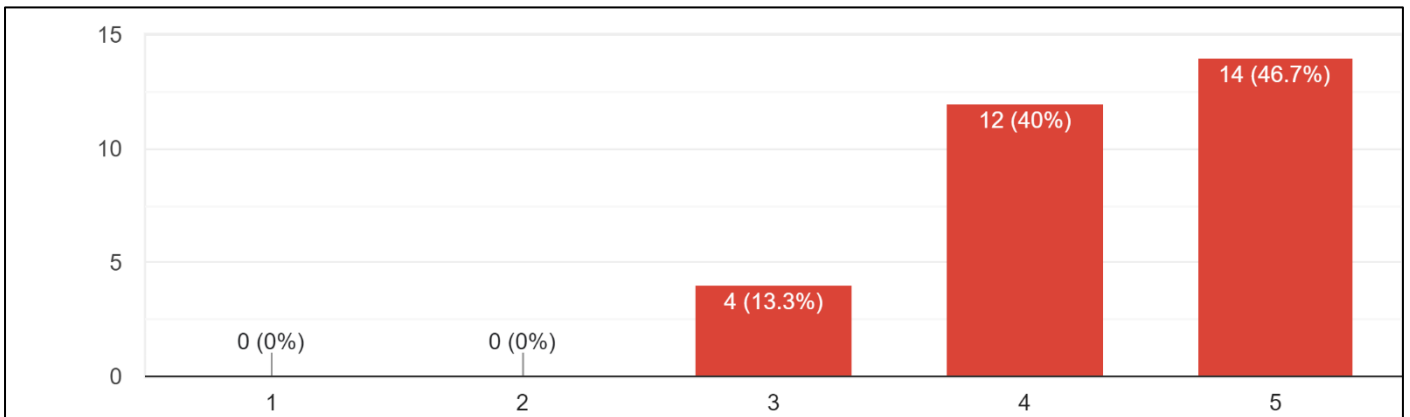
5.成果報告を通して、院生が教職大学院で行っている学修や研究について理解を深めることができましたか
(1:理解することが出来なかった～5:理解することが出来た)

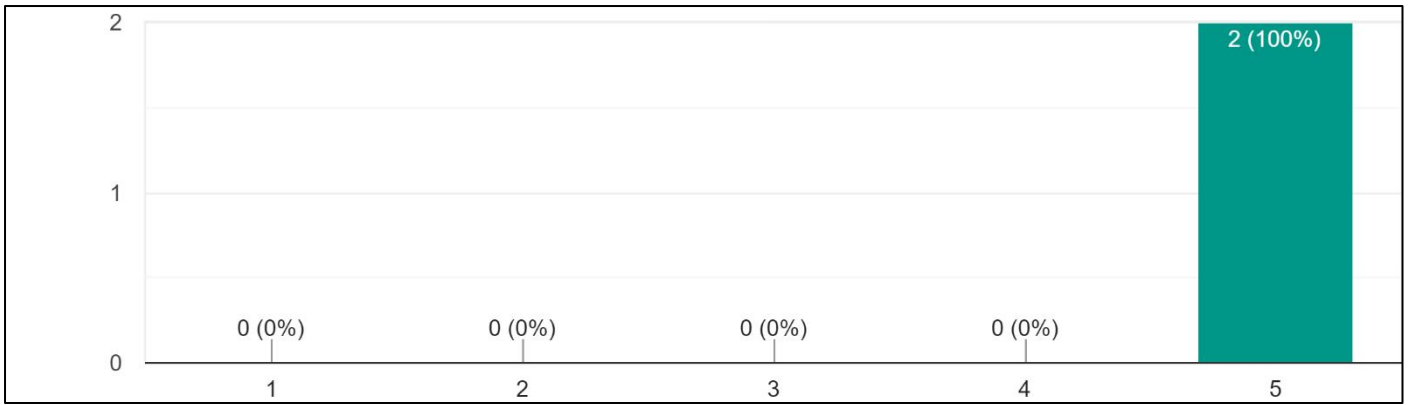




6.教職大学院での学修や研究は、学校現場でも生かすことが出来そうだと感じられましたか。

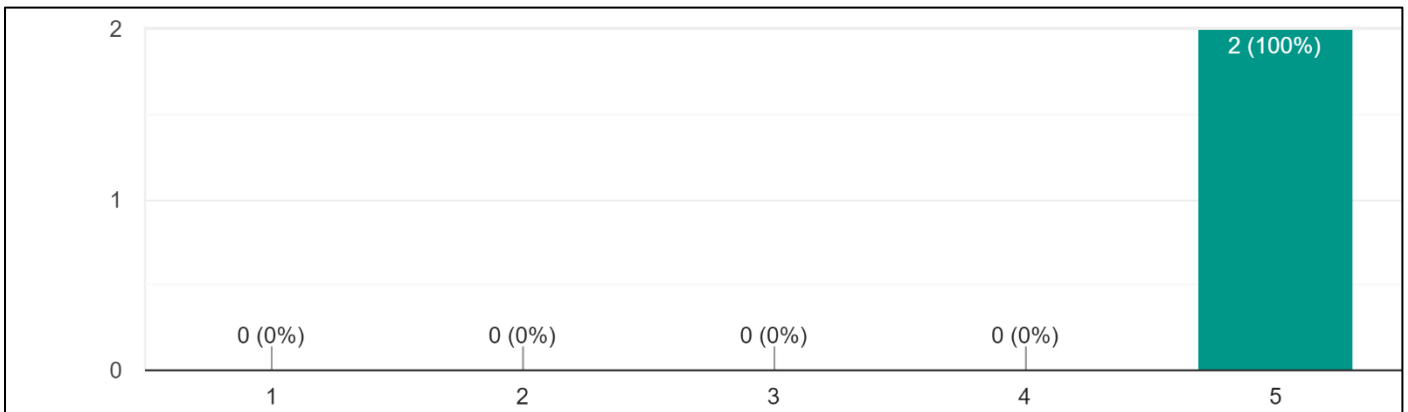
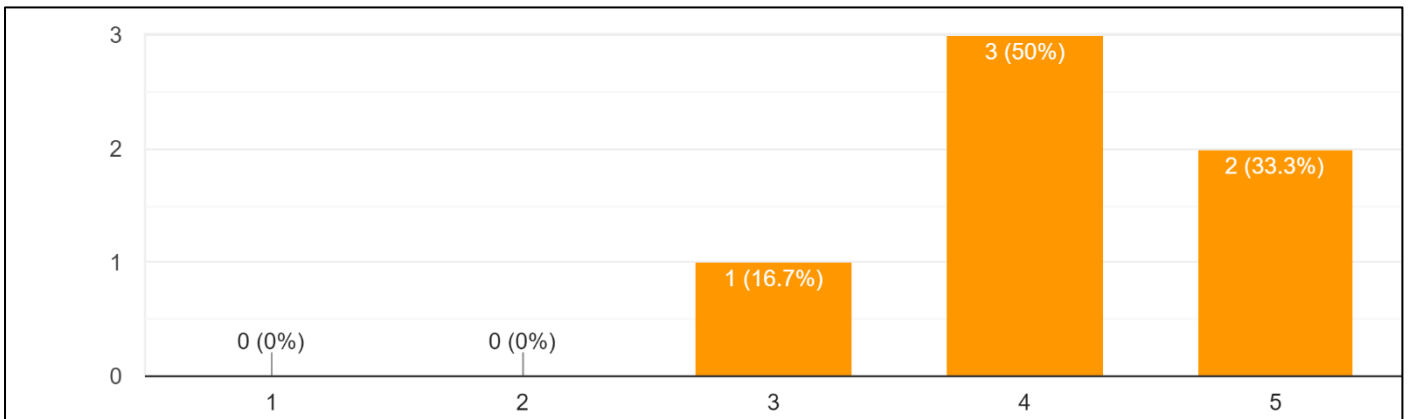
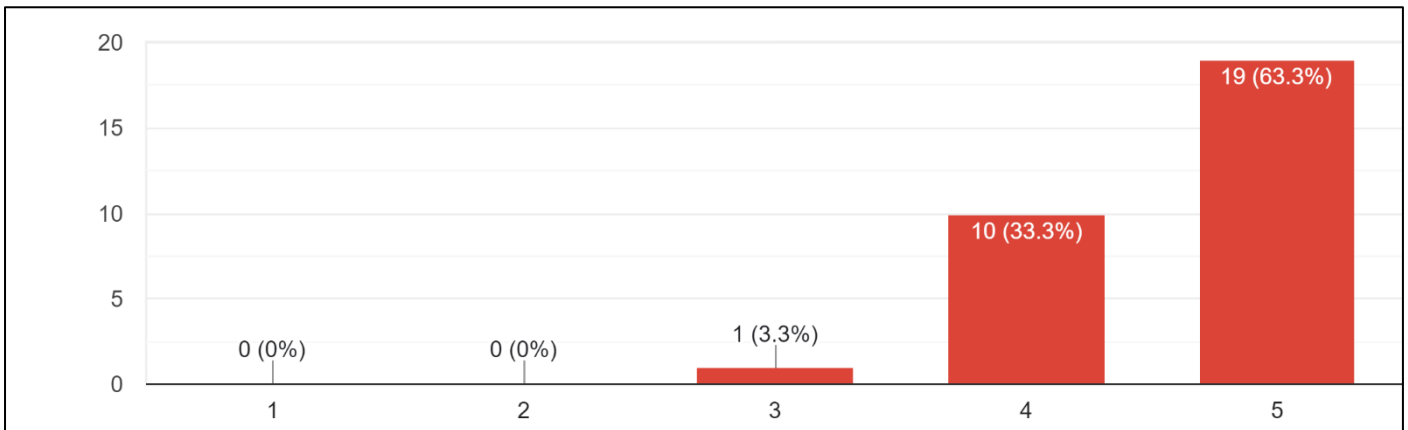
(1:活かすことは出来ないと感じた～5:活かすことが出来ると感じた)





7.教職大学院で行う学修や研究について意義や価値を感じることが出来ましたか。

(1: 意義や価値を感じることが出来なかった～5:意義や価値を感じることが出来た)



8.成果報告会に参加されて、感じられた感想やご意見がございましたら、お書きいただけますと幸いです。また、教職大学院への要望などがありましたら、ご記入ください。

院生・一貫プログラム生

- ・オンラインと対面だと、現地に来れなくても、聞きたいところが聞け、質問もできるので良いと思う。他の人の研究を聞き、自分の現場でも使えそうなこともあり、自分の研究と繋がることもあり、新しい発見もあり…学びの多い時間となりました。来年度も卒業はするけど、成果報告会等に参加できる機会があるといいな、と思っています。
- ・異分野の研究からも、今後の自分の実践に取り入れたい取り組みや、参考になる取り組みが多くありました。学ぶことの多い3日間でした。さらに、新しく勉強したいこと、考えたい視点もでてきました。2年間の学びが繋がりました。
- ・皆さんの発表をお聞きして、良い刺激をいただきました。部屋の空調が辛いときがありました。17日は、もっと小さな部屋でもよいかもかもしれません。スクリーンが見えにくかったのですが、PCで見られるよう対応してくださったのでありがたかったです。機械トラブルとその対応も大変だったことと思います。お疲れさまでした。そしてありがとうございました。
- ・先生方にはご準備いただきありがとうございました。zoomでの開催について、事前の準備がスムーズにできるとよかったなあと3日目の時思いました。発表者はただでさえとても緊張するので、周りのハプニングは動揺すると思います。
- ・現状を考慮すると、ハイブリッド方式が最適だと思いました。機器の対応等、先生方には大変お世話になり、ありがとうございました。
- ・他の方の研究との繋がりを強く意識できた会だった。発表者1人1人が伝えられたことは、現場で必要とされていることなので、今後の実践で活かせるように努力していきたい。
- ・やはり、対面の発表が一番だと思いました。コロナ対策がまだ必要な中、対面形式にさせていただいて嬉しかったです。もう少し質疑したかったものもありましたが、時間の関係上仕方ないとも思いました。
- ・学生もそうかもしれませんが、教職大学院の先生方で質問をしてくださる先生は特定の先生に限られていると感じました。ジャムボードにも1枚も貼り付けがなく、質問もされない先生は、発表を聞いておられないのか、こちらの練習不足で発表が理解しにくいのかわかりません。せめて感想を書いていただくと嬉しいです。成果報告会が学生、教員共に学び合える場になりますように。
- ・2年間の集大成である、発表を対面で行うことができたのをありがたく感じます。発表する側としては、聞いておられる方の顔を見ることで、関心を持ってくれていること等感じることができました。また、ジャムボードに質問を書き込むことで、自分の感想や意見を整理することができました。
- ・M1 やストレートマスターの学生は直接は言えないこともあるため、司会者から指名してもらえると助かる。また、質問とそれに対する回答をまとめてコメントしてもらえたことで理解を深めることができた。
- ・特になし
- ・M2の発表は勉強になりよかった。様々な観点から研究しておられたので大変参考になった。その反面、専門性の高いものは理解が難しく意見をいうことが出来なかったのが残念だった。M1の発表については今のこの時期に成果報告として発表することが適切かについて疑問を感じた。成果報告ではなく、経過報告みたいにすると成果だけに捉われず悩んでいることなども報告できると感じた。成果と言われるとどうしてもかきこまってしまう。こちらから質問する時間も欲しいです。
- ・自分の研究と共通することを研究しておられる院生もいて、大変参考になりました。先行文献からは得られないリアルな言葉やデータなど、M1・M2があり、共通の大学教員もいるから学び合いができると感じました。何より先生方との関係(先生方の人柄)や院生同士の関係が良好な点が、それを円滑に進めていると感じています。
- ・私自身の発表は問題なく行うことができましたが、他の院生の発表の際に機器の不具合?があり、気の毒でした。今回はオンライン参加の方からの質問・感想もあって良かったです。
- ・○ 発表資料の共有について、今回はzoomでの共有ではなく、書画カメラを通しての共有であったため、発表者とし

て負担なく発表することができて良かった。○ジャムボードに質問やコメントが残ることで、発表して終わりではなく、時間内にお答えできなかった質問に個別にお答えしたり、ご意見を見て今後の研究に活かしたりすることができゆので、良かった。▲M1の発表のときに、スライド共有のトラブルがあり、発表していた学生が気の毒であった。原因を明らかにして、今後は同じことがないことを望む。○司会者がジャムボードの質問を見ながら、前の質問やその時のトピックに関連付けて指名されていたのが、議論が焦点化されて良かった。○今回は、タイムキーパーとマイク係が学生の仕事となっていたが、この2つの仕事なら負担なくできる。▲全体会場(2階の部屋)より、M1のAグループ会場(3階の部屋)の方が座りやすく聞きやすいと感じた。収容人数がクリアできれば、3階の部屋の方が身体が疲れないのではないかと感じた。

実習協力校・教育委員会等

- ・参加できてよかったです。前期も出たかったのですが、案内が直前過ぎて出られませんでした。なんと当日朝でした。限られた時間での参加となってしまったので、7.8.についての判断はできませんでした。教職大学院での学びと、学校現場での業務が結びつく研究が一層進むとよいです。
- ・現場の課題をなんとかしたい熱い思いを、個人の向上心という学びの原点を感じました。きっと島根のために力になると思います。
- ・教職大学院ということで、「学校現場でも生かせるか」という視点を重視されているのであれば、研究テーマの決定にあたって助言が必要だと感じました。実習校でも相談にはのりますが、すでにこのテーマでと決定されていると、こちらであれこれ助言しても方向性を調整するのは難しいと感じました。来年度授業実践をされる際には、しっかり関わっていきたくと改めて感じました。
- ・興味深い研究で、どれも感心したり、頭の中で整理したり、興味をますます高めたりできる貴重な時間だった。改めて、大学院の価値について実感した。
- ・3日目の発表音声途切れたり聞きづらかったことは残念でしたが、全般的に大変良かったです

学内教員